

## 2016 年度聖書の集い（第 1 回）

2016 年 5 月 18 日

桃山基督教会

<http://momoyama.hannari.com/>

古本 靖久

- 1、聖歌 462 番 「飼い主わが主よ」
- 2、お祈り
- 3、聖書 ルカによる福音書 15 章 1 節～7 節」（新約聖書 138 ページ）
- 4、今日の内容

### 心に留めたい聖書のことば「① 主はわたしの羊飼い」

今年も「聖書の集い」が始まりました。一年間、よろしく願ひいたします。今年もこのようなレジメを毎回作ります。読み返す時などに、どうぞお使いください。またホームページにもアップしていきますので、どうぞご利用ください。

今年のテーマは、「心に留めたい聖書のことば」です。聖書にはいろいろな言葉が載っていますが、その中でもたくさんの人の心を捉えてきたものを紹介したいと思います。

#### ① 羊ってどんな動物？

皆さんの中に、羊飼いの友達がいる方はおられますか。聖書には「羊」や「羊飼い」という言葉がよく出てきますが、わたしたちにとってあまりなじみのないものです。しかしイエス様がおられた場所には、牧畜を職業とする人がたくさんいました。

ですからイエス様が「羊が～」と言われると、聞いている人たちはすぐにその光景を目に浮かべることができたのです。



ではまず羊について、少しお話ししましょう。羊という動物は、とても目が悪いそうです。目の前の物もぼんやりとしか見えず、迷子にならないように前の羊のお尻に鼻をくっつけて、一生懸命ついて行くそうです。またとても怖がりで、ちょっとした物音に驚いてしまい、すぐに逃げてしまいます。さらに、転んでしまったら、一人で起き上がることが出来ないそうです。

## ② 聖書が描く神さまとわたしたち

ここで聖書にでてくる有名な詩を紹介しましょう。

主は私の羊飼い。私は、乏しいことはありません。

主は私を緑の牧場に伏させ、いこいの水のほとりに伴われます。

主は私のたましいを生き返らせ、御名のために、私を義の道に導かれます。

たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわいを恐れません。

あなたが私とともにおられますから。あなたのおちとあなたの杖、それが私の慰めです。

私の敵の前で、あなたは私のために食事をととのえ、私の頭に油をそそいでくださいます。

私の杯は、あふれています。

まことに、私のいのちの日の限り、いつくしみと恵みとが、私を追って来るでしょう。

私は、いつまでも、主の家に住まいましょう。

(詩編 23 編)

## ③ わたしたちを守ってくださる神さま

先ほど紹介したように、羊はとても弱く、一人ぼっちでは生きていくことの出来ない動物です。必死で群れにくっついていき、いつも怯え、そして一度転んでしまったら起き上がることができない。

でもその姿は、落ち込み、悲しみ、苦しむ、わたしたちの姿と重なりはしないでしょうか。一人で起き上がることが出来たら、どんなにいいことでしょうか。でも、そのような時ばかりではないことを、わたしたちはよく知っているのです。

羊飼いは羊を守るために、夜通し番をします。杖を使ってオオカミを追い払います。オアシスへ、そして緑の牧場に羊たちを導きます。しかし羊たちにとっては、まさか自分たちがそのように守られているとは、気づかないことも多いのかもしれない。

聖書は語ります。「主はわたしの羊飼い」と。わたしたちが知らないうちに、神さまはわたしたちに手を差し伸べてくださっています。そのことをわたしたちが知ると共に、子どもたちにも伝えていけたらと思います。

＜桃山基督教会での礼拝のご案内：どなたでもお気軽にどうぞ＞

日曜学校（子どもの礼拝）： 毎週日曜日 午前 9 時 30 分から

日曜礼拝： 毎週日曜日 午前 10 時 30 分から